

発行日：平成30年10月3日
号数：No. 394
発行：印旛地区教育研究会理科研究部
HP：<http://rikainba.com>
メール：rikainba@yahoo.co.jp



去る 8 月 28 日（火）、第 68 次 印教研集会理科研究部会が開催されました。小学校部会は成田国際高等学校、中学校部会は成田小学校を会場とし、それぞれ 5 つの部会から提案をいただきました。そして、北総教育事務所指導主事 山下 博樹先生、印西市教育委員会学務課副参事 加藤知己先生より、各提案について丁寧にご助言をいただきました。選考の結果、小学校部会は 3 部会、中学校部会は 4 部会が県教研へ進むことになりました。



近年、若い先生方が発表者になる部会が増え、ベテランの先生方が助言をしたり、若い先生方が質問や意見を堂々としたりしている場面が多く見られます。今年もその様な傾向が見られました。また、討議の中で若い先生方を理科研究部全体で育てていこうという姿が見られました。

助言者の先生方、提案された各部会の先生方、司会、記録、受付補助等でご協力をいただきました先生方に、心より御礼申し上げます。



☆ 参観された先生方から ☆

(敬称略)

酒々井町立酒々井小学校 郷田 教一

教育研究集会理科部会の発表では、今すぐにも実践してみたいという提案を毎年拝見させていただいています。今年も同じ気持ちで参加させていただきました。



3 部会「理科学
習における問題解
決の力の育成」の
発表から始まり、
4 部会「より主体
的な学習活動を目

指す指導法の工夫」 5 部会「問題解決の力を育成する指導の工夫」 1 部会「理科の見方・考え方を働かせ、科学的に研究していく理科学習のあり方」 2 部会「自ら問題を解決する力を伸ばす理科学習」とどの提案も興味深いものばかりでした。共通していえるのは、児童にいかに関心を持たせ、理科の醍醐味となる「なぜ?」「どうして?」を追求する探究心を育成する研究ということです。

ご指導していただいた山下博樹指導主事の言葉にもありました「子ども達に、『不思議だな』『どうしてだろう』などやる気にさせるのがわれわれ教師の役

目」になれるよう日々精進し、児童が理科をもっとも
っと勉強したいと思えるよう頑張っていきたいと思
います。

八街市立八街東小学校 金谷 竜二

私は子どもたちに「確かな学力」を身に付けさせるために、日々授業実践を行っています。しかし、なかなか思うようにいかないこともあり、今回の発表会では少しでも多くのことを吸収したいという気持ちで参加させていただきました。各部会の提案で共通していたことは、児童の主体性を引き出し、問題解決へ促すということでした。よく耳にする言葉でしたが、それを実現することは難しく、私にとっても非常に興味深い内容でした。主体的に導くためには、児童に自分の事として課題を捉えさせ、必要性を感じさせることが大切であると感じました。そのために問題提示の仕方を工夫し、児童に「どうしてだろうか」「なぜだろうか」という疑問をもたせ「調べてみたい」という探究心へとつなげていくことが大切です。そうすることにより、子どもたちが調べた結果や考察が「確かな学力」として定着さ



れていくのだと思いました。また、報告会の資料の一部で、児童が実験に取り組む映像を目にしましたが、どの児童も目を輝かせ授業に取り組む様子が見られました。主体的に取り組むということは「確かな学力」となり、今後の理科教育の発展へとつながっていくのだと改めて痛感しました。日々授業実践の中で今回学んだ事を取り入れ、児童の主体性を引き出すことのできる授業づくりを目指していきたいと思います。

四街道市立四街道中学校 藤 昌幸



毎年、授業から離れてしまうこの時期に、各部会の先生方からさまざまな提案をしていただき、刺激的で大変有意義な

時間を過ごさせて頂きました。多くの提案は学習指導要領の改訂にともなう「主体的」「対話的」「深い学び」を目指した具体的な授業方法に対するもので、予想にフローチャートを取り入れる、考えを見える化するために巨大ホワイトボードを活用する、考察を段階的に組み立てさせる 4QS、導入で単元のアウトラインを伝えて内容が一貫した考察を書くための「コア」の設定、授業への意欲を高めるための「目のつけどころ」の設定など、多方面からの授業へのアプローチを知ることができました。

最近では塾に通っている生徒も増えており、ただ答えを言わせたり、実験に対する考察を書かせるだけでは知識を使っているだけで果たして「深い学び」にはなっているのだろうかと感じていました。授業時数との関係でどうしても教員主導の授業が多くなってしまうことはありますが、ポイントを絞り、今回提案していただいたアイデアを活用してより主体的でわかりやすい授業を作っていきたいと思います。



印西市立西の原中学校 平野 倫子

他の部会の研究発表を聞き、充実した一日となりました。新学習指導要領より自ら問題を解決する力の育成が求められており、今年



度主体的に活動できる授業を目指す提案が多く見られたように思います。どの部会発表でも、意見や質問が活発に行われており関心が高く充実した時間となりました。特に、四部会の「より主体的な学習活動を目指す指導法の工夫」では、生徒が実験や観察後の考察の中での「目のつけどころ」をおさえられるようになり、理科の苦手な生徒も関心が高められていることがとても効果的だと感じました。さらに、苦手な生徒だけでなく、上位層の生徒にはジャンプアップ課題の設定をし、取り組みを深めており、学力差に対応していることがわかりました。

私自身、三部会の研究に関わらせていただき先輩や仲間の先生にはいつも感謝しています。三部会では、「目的意識を持たせるための指導の工夫」について研究しております。この提案テーマに対して、話し合ったり、アンケートをとってまとめたりする時間は、日々の業務で忙しく大変ですが、それ以上に自身の授業力向上のための勉強になっています。日頃の授業で使えるアイデアを教え合い、実験でうまくいかないことに対しても相談に乗ってくださる先輩ばかりで有意義な時間となっています。

これからの授業では、新学習指導要領に基づいた授業力向上・改善が必要となります。今回の研修で具体策が多く、授業を見直すきっかけにもなりました。今後とも研究に精進し、生徒のための授業づくりに一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。

多くの先生方に積極にご参加いただきとても充実した時間になりました。子ども達に質の高い学びを提供できるように更に研究を深めていただければと思います。